

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	3	事例No	3	依頼者	安城市立安城西部小学校	実施場所	安城西部小学校体育館
実施対象	小学4年生 (3クラス 100名)						
実施日時	令和4年11月24日(木) 10時40分～14時05分						
テーマ	水環境について理解し、水を大切にするためにはどうすればよいのかを考える						

●依頼内容

ビオトープや水に関する環境学習、及び環境学習の進め方のアドバイスをもらえる講師を紹介してほしい。

●講師：長谷川 明子 氏 (ビオトープ・ネットワーク中部 会長)

長谷川氏(Ph.D.)は、1級ビオトープ計画管理士の資格を有し、大学や専門学校での講師経験がある。また、自然環境の保全と私たちの暮らしの豊かさとの両立を可能にすべく、執筆や講演会等、自然環境の魅力を楽しく伝える活動に取り組んでいる。2010年に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)においては、愛知県と名古屋市の生物多様性アドバイザーを務めた。現在、あいちミティゲーション専門家派遣事業(愛知県)の専門家、(公財)日本生態系協会評議員、尾張西部生態系ネットワーク協議会会長等として幅広く活躍されている。

●授業の内容

座学	講師の紹介が行われた後、パワーポイントを使って、地球上の水や生物多様性をめぐる問題について授業が行われた。「地球上にはどれくらいの水がある?」「どれくらいの生物が絶滅の危機にある?」といったクイズを交えながら、「自然の開発」「山や森の手入れ不足」「農薬の使用」「化石燃料の大量使用による温暖化」等によって、多くの生物が絶滅の危機にさらされていることについて説明された。	45分
	休憩	10分
ワーク シヨッ プ	子どもたちから事前に提出されていた、「冬眠中の食料は?」「CO ₂ はどこに行くの?」等の疑問に対して講師から回答が示された。質疑後、午後実施するワークショップ、街づくりについて説明が行われた。子どもたちは5~6人で1つのグループに分かれ、街の要素(川と池、住宅、スーパーマーケット、学校、病院、市役所、工場、浄水場、下水処理場等)のイラストを用紙から切り取る作業を行った。	45分
	昼休み	60分
ワーク シヨッ プ	午前の授業で切り取った川と池を模造紙に貼り、川の上下流を描いた。その後、様々な街の要素を貼ったり、道路や公園等を描いたりして絵地図を完成させた。完成後、川を手掛かりにすべてのグループの絵地図をつなぎ合わせた。最後に講師から、川を始めとした自然や暮らしは街をこえてつながっており、自分の住む街だけでなく、周りの街との関わりも含めて暮らしや環境を考えることが大切であると話があり、授業のまとめとした。	45分

●授業の様子

授業は、小学4年生3クラスを対象に3時限目から5時限目にわたって体育館で行われた。座学では、講師からの問いかけに対して積極的に答えていた。ワークショップでは、グループのメンバーで役割分担をしながら、街の要素を貼ったり、イラストを描いたりするなど真剣に取り組んでいた。

水や生物多様性に関わる環境問題について学んだ。



グループごとに街を描きつなぎあわせた。

